

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 年 月 日

事業所名: 多機能型事業所 育ち

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2 職員の配置数は適切であるか	○		言語聴覚士・保育士・児童指導員などを常勤・非常勤で配置している。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		支援終了後には、毎回清掃、消毒を行っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		ケース会議で情報を共有し共通理解をできるようにしている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		ケース会議で把握している。	今年度開所の為、評価表への取り組みは今回が最初である。評価表の主旨に従い、保護者の意思を把握した上で業務改善に努めていく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			開所1年目の為、今回よりホームページにて公開していく。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		現在、第三者評価の実施はできていないが、来年度は外部評価を得る計画を準備中である。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		ZOOM研修を各自参加している。	職員の配置に考慮してできるだけ多くの研修会に参加出来るようにしていく。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		面談時に保護者からのニーズを聴取し、自発管が計画を作成している。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		保育士と専門職と連携し、立案している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		職員間でミーティングを行い、活動内容を振り返り、次回の計画を立てている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼でその日の利用人数や担当職員の確認、支援内容を確認共有している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		その日の支援内容や様子、気付き、保護者からの連絡を伝え共有している。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		専用ソフトや指導案に毎日記録している。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		保健センターと情報共有を行っている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	/		現在は医療ケア児の受け入れはしていない。今後その必要性が生じた場合は、職員の対応力を十分に考慮して受け入れの可否を決定したい。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/		現在は医療ケア児の受け入れはしていない。今後その必要性が生じた場合は、職員の対応力を十分に考慮して受け入れの可否を決定したい。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			ご家族・園への電話連絡に加え、送迎の機会を利用して情報共有を行っている。月末には翌月の予定票も送付し相互確認をしている。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		進級・進学に向け、情報共有を行っている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		子ども総合療育センターと情報交換を行っている。	今後も、地域の状況やより良い療育・サービスを提供できるよう連携強化を図っていきたい。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			今年度はコロナ禍の為、感染対策を重視しているため活動はないが、送迎時に交流を図っている。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		今年度は、コロナ禍の為、参加できなかったが、緩和後は機会をとりえ、連携を深めるための工夫をしていきたい。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時に直接話したり、連絡メールや面談などで活動の様子を伝えている。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		面談時に支援プログラムについて説明をしている。		
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		悩みがある場合、面談を取り入れている。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		コロナ禍の為、現時点では感染対策を重視しているためできていないが、今後検討していきたい。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		活動概要・情報等はホームページに掲載している。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報ファイルは鍵付き収納ボックスで保管している。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		子どもの訓練を中心に行っているため、地域住民の方を招待して療育に生かすための行事については、現在のところ計画していない。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか。	○			感染予防についてはその都度紙面にてお知らせし、協力をお願いしている。他、マニュアル等については事業所内に掲示し、いつでも確認できるようにしているが、保護者へ十分に周知できるよう努める。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			今年度の避難訓練は不定期だったので、来年度は定期的実施できるように計画し、見える化に努める。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			現在は、対象児はいません。対象児には適切に対応する。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事例、対応、改善策、再発防止などについて記載し、職員で共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		研修後報告会をすることで情報共有に努めている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		契約時に了承を得ている。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)